

令和6年度

事務管理執行状況点検評価報告書

(令和5年度事務事業対象)

有田市教育委員会

はじめに

本市では、第5次有田市長期総合計画において、将来都市像『人が輝き まちが色づく魅了都市 ありだ ～みんなが躍動する Active Arida～』の実現を目指し、3つの基本理念『みんなの可能性を伸ばすまち【Active Growth】』、『みんなで元気なまちにする意識【Active Sense】』、『新たな生活スタイルで活動的に生きる【Active Style】』を掲げています。

この将来都市像を実現するために、5つの分野別まちづくり目標を定め、その一つ「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」において、教育分野の施策を掲げています。

有田市教育委員会では、学校教育の充実、青少年の健全育成及び生涯学習の推進、文化・芸術・スポーツの振興などに取り組んでおり、市民の皆様を対象として数多くの具体的な事業を実施しております。

令和5年度に教育委員会が実施した主要な事業について、外部評価委員からの意見をもとに、次のとおり点検評価を行い、その結果を報告書にまとめましたのでご報告いたします。

令和6年12月

有田市教育委員会

I 実施方法等について

1. 点検・評価の対象年度と事業

点検・評価の対象は、有田市長期総合計画に基づいて前年度に実施した事業とし、本年度は令和5年度に実施した27事業について実施しました。

2. 点検・評価の方法

- (1) 教育委員会事務局の担当職員が、令和5年度の主要な事務事業を抽出し、各事業について事業コストを確認・点検し自己評価を行いました。自己評価については、評価項目を必要性、有効性、公平性の3項目でそれぞれ5段階評価とし、総合評価については、「十分できている」、「できている」、「あまりできていない」、「できていない」とする4段階評価としました。また、今後の方向性として、「廃止・終了」、「休止」、「継続」、「拡大」、「見直し」を示し、課題と今後の対応などについて述べました。
- (2) 評価の客観性を確保するため、教育委員会評価委員会を設け、外部の立場から意見をいただきました。

なお、教育委員会評価委員会の委員は、次の方々です。

(50音順、敬称略)

氏 名	所 属 等
石 井 秀 明	学識経験者
桑 原 義 登	学識経験者
福 永 幸 子	学識経験者
若 宮 秀 行	学識経験者

3. 評価委員会実施日時

第1回：令和6年11月11日（月）午前9時～午前11時40分
事務局からの説明・質疑応答

第2回：令和6年11月15日（金）午前9時～午前11時20分
評価委員の意見聴取

II. 点検評価結果

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	学校運営協議会（教育振興事業）		担当課名	教育総務課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策		施策名		
	2-1 学校教育		①学校教育の充実		
目的	学校と地域が目的やビジョンを共有することにより学校や地域が抱える課題を解決するとともに、地域を担う人材を育成するために、学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子供の成長を支えていく学校づくりを進めること				
内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営に関する基本的な方針の承認 学校や地域の課題解決に向けた協議や熟議 課題解決に向けた地域や家庭への要請 				
対象者	教職員・保護者・地域の方				
根拠法令等	有田市学校運営協議会規則、有田市コミュニティ・スクール連絡協議会設置要綱				
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）		
決算額 （千円）	945	834	国支出金		
			県支出金		
			地方債		
			その他		
			一般財源	834	
			計	834	
事業成果	<p>平成29年度より保護者、地域住民が学校運営に参加する学校運営協議会を市内全校で設置し、活動を開始した。学校評価の取組を一層推進し、課題を共有した地域との連携・協働の在り方を研究するとともに、地域にある人材や教育支援団体を整理・発掘し、学校を核とした地域コミュニティとしての組織づくりを目指している。</p> <p>令和2年度より推進員（元校長）を3名配置し、推進に努めるとともに、校長、教頭等管理職を対象に学校運営協議会に関する研修や各協議会の会長で組織するコミュニティ・スクール連絡協議会を実施し、各校協議会の運営方法や課題等について意見交換を行い、よりよい学校運営につなげることができた。</p> <p>また、学校運営協議会の活動と生涯学習課で実施している地域学校協働活動との一体的推進を目指し、毎月「有田市コミュニティ・スクールだより」を発行し、回覧で市民への周知を図った。</p>				
自己評価	評価項目	評価の主な観点等			
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い	育てたい子供像、目指すべき教育の目標を学校が地域と共有し、一体となって子供たちの成長を支えていくことができる。学校運営に関わる合議体としての組織であり、学校評価を行う役割を担っている。		
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子供の成長を支えていく学校づくりを進めることができている。		
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	市内すべての小中学校に学校運営協議会を設置している。有田市CS連絡協議会を年3回開催し、各学校間の情報を共有することができている。		
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 学校運営協議会の設置から7年が経過し、問題点を改善しながら運営しており、事業として進んでいると判断している。 学校運営協議会においては、情報を共有したり、熟議したりすることで地域社会からの視点で学校運営に多様な意見を反映する場となっている。			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	令和6年4月に中学校が1校に統合し、中学校区が有田市全体となる。今後は学校や地域の課題に応じて、地域とともにある学校づくりとともに学校を核とした地域づくりの視点から、地域と学校の連携・協働の在り方をさらに検討していきたい。			

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	有田市教育支援センター（教育振興事業）		担当課名	教育総務課		
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策		施策名			
	2-1 学校教育		①学校教育の充実			
目的	何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくともできない状況にある児童生徒に対し、学校とは異なった環境で、教育相談や学習支援等を行うことを目的とする。					
内容	教育支援センターの通室前支援に関すること。 教育支援センターの通室児童生徒への教育相談に関すること。 教育支援センターの学習支援に関すること。 教育支援センターの通室児童生徒の保護者及び学校との教育相談に関すること。 登校支援員による個別の家庭訪問等、児童生徒の個々の居場所確保に関すること。 関係機関との連携に関すること。					
対象者	児童生徒・保護者					
根拠法令等	有田市教育支援センター設置要綱					
事業費用	令和4年度		令和5年度		令和5年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	3,882		6,057		国支出金	
					県支出金	
					地方債	
					その他	
					一般財源	6,057
				計	6,057	
事業成果	<p>【体制】 指導員 3名、スクールソーシャルワーカー（市費・県費各1名） スクールカウンセラー（県費1名） 登校支援員 3名（市費）</p> <p>【場所】 須谷教育集会所（有田市宮原町須谷） 各中学校（登校支援員1名配置）</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導員3名が交代制で勤務（1人週3日勤務）を行っている。開所は午前9時30分から午後3時まで。夏季休業日等の長期休業日も日を定めて開所する場合がある。 令和5年度通室人数 12名（令和4年度11名） ほとんど毎日通室している者や、通室と在籍校への登校を併用している者、教育支援センターにも月に数日の通室にとどまっている者など、児童生徒それぞれで通室状況は異なる。 保護者や学校からの相談にも対応している。 学校やスクールソーシャルワーカー（市費・県費各1名）、教育委員会担当指導主事などと連携しながら事業を進めている。 登校支援員が各家庭を訪問し、教育支援センターへの通室支援や在籍校への登校支援を実施した。 他関係機関との連携により、体験活動を実施。 					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い				
		教育支援センターは、小中学校へ通学したいができない児童生徒にとっての居場所となっている。また、登校支援員が支援することで、通室や登校へ繋がり、家庭以外での居場所の確保へとつながっている。				
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
教育支援センターでは、通室で同世代の子との関わりを持つことで、児童生徒の前向きな生活改善に繋がっている。また、学校への登校を再開する生徒や進路選択をして高校への進学を目指す姿が、他の児童生徒へも良い影響を与えている。 登校支援員が支援を行うことで、家庭から出るきっかけにつながっている。						
公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い					
	小さい集団であるが、学校で育む社会性などを教育支援センターへ通室することで獲得できている。					
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					
	<p>【判定理由及び今後の課題と対応】</p> 学校との連携を強化し、不登校児童生徒に対しても家庭訪問をするなど積極的に関わりを持つよう活動を継続、また、公民館等との交流もあり、児童生徒の社会性を育むことへ大変効果があった。 市内東側の地域からの通室が中心になっているため、西側地域の児童生徒への積極的な関わりが必要である。					

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	万博国際交流プログラム（教育振興事業）		担当課名	教育総務課		
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策		施策名			
	2-1 学校教育		①学校教育の充実			
目的	アラブ首長国連邦ドバイ首長国の中心都市であるドバイと国際交流を行い、2025年大阪・関西万博においてドバイが運営するパビリオンへの市民（学生）の参画を計画している。また、万博後においても有田市とドバイとの交流を維持していくことを目的とする。					
内容	GEMS校とオンライン会議をスタートし、相互の子どもたちが万博までにどのような交流を行っているのか協議を行う。 オンラインによる協議3回に加え、市長をはじめ関係職員がGEMS校を訪問し、来年度の中学生派遣にむけての協議を行なうとともに、その際の訪問予定先の調査を行う。 目標：今後の継続的な交流にむけて、GEMS校と覚書を締結する。 今後の交流について、次の事項が可能となるよう協議する。					
対象者	生徒、教職員					
根拠法令等						
事業費用	令和4年度		令和5年度		令和5年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	0		4,634		国支出金	
					県支出金	
					地方債	
					その他	3,000
					一般財源	1,634
					計	4,634
事業成果	2025大阪・関西万博を契機に、有和中学生のドバイ派遣に関する協議や現地調査を実施し、有和中学校とGEMS アル・バルシャ・ナショナル・スクールとの継続的な交流に向けた覚書を締結した。 【現地調査日程】 ・1月11日 在ドバイ日本国総領事館訪問 ワルサン廃棄物処理発電施設視察 ・1月12日 GEMS校訪問 連携協定締結・視察・協議 ・1月13日 現地生徒訪問先視察 【覚書内容】 ①共同教育プロジェクト：環境の持続性、テクノロジーなど相互に関心のあるテーマについて、共同的な探究学習の実施 ②交換留学プログラム：学生がお互いの文化や教育システムを体験するための短期交流訪問 ③文化交流イベント：お互いの文化や伝統を祝うイベントや活動の企画					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
		UAEとの教育交流に向けたキックオフになるとともに、2024年実施予定の有和中学校生徒の現地訪問・交流に向けた情報を得る機会につながっている。				
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
我が国の伝統と文化及び 諸外国の文化に対する関心や理解を深め、尊重する態度を養うことにつながっている。						
公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
	市内に1校である有和中学校とドバイGEMS校との連携を構築することにより、授業等で生徒同士が交流を深めていく機会につながっている。					
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 ドバイGEMS校及び関係機関とつながることができ、2024、2025年に向けた連携体制を構築することができた点、また現地の状況を確認し、文化や習慣の違いをはじめとした様々な情報を得ることができた点で大変有効であった。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	UAEとのさらなる親睦に向けて、学校間の教育交流を継続・発展していく必要がある。2024年の生徒訪問に向けた具体的な計画作成、その後の2025年関西・大阪万博UAEパビリオンでの共同発表等の準備など、UAEとの息の長い交流にむけた検討を行っていく。				

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	紀の国緑育推進事業	担当課名	教育総務課			
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名				
	2-1 学校教育	①学校教育の充実				
目 的	森林の観察や間伐体験などの自然体験学習を通して、自然環境保全に対する意識を高め、木工体験等によって物づくりに対する興味や関心を深める。					
内 容	森林組合職員による森林学習授業や間伐体験、間伐材を利用した木工体験の実施。					
対象者	児童生徒					
根拠法令等	紀の国緑育推進事業補助金交付要綱（和歌山県） 紀の国緑育推進事業補助金交付要綱取扱要領（和歌山県）					
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）			
決算額 （千円）	3,669	3,392	国支出金			
			県支出金	3,392		
			地方債			
			その他			
			一般財源			
			計	3,392		
事業成果	<p>県の補助金を活用し、実施している事業で、令和5年度は、箕島小5年生39人・田鶴小5年生24人・保田小6年生55人・宮原小5年生39人・港小5年生12人・文成中2年生59人の児童生徒合計228人が参加。</p> <p>森林体験と森林について事前・事後学習することで、森林の働きと自分たちの生活との関わりを理解し、森林保全や林業の大切さを学ぶことができた。</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		希望校は参加することが可能で、緑育体験を行うことができる。				
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	<p>県の補助事業を活用することで、森林や環境への関心を高める機会となっている。</p>				

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	学力向上推進事業	担当課名	教育総務課	
第5次有田市長期総合計画上の位置づけ	政策	施策名		
	2-1 学校教育	①学校教育の充実		
目的	創意工夫を生かした特色ある学校づくりを推進する。			
内容	学校司書及びICT活用支援員を配置し学校図書館や情報教育の充実を図るとともに、特色ある学校づくりの推進や英語科・外国語教育の充実を図る。			
対象者	児童生徒			
根拠法令等	教育基本法第5条（義務教育）			
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	48,169	50,263	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	42,614
			一般財源	7,649
		計	50,263	
事業成果	<p>・①学校司書を令和4年度同様6名配置し、学校図書館の充実を図った。 図書貸出冊数 80,307冊</p> <p>・ICT活用支援員は、操作支援や環境整備だけでなくPC・タブレットの設定や故障の対応なども行うため、名称を情報システム管理員に変更して引き続き1名を配置し、情報教育の充実を図るとともに情報機器の管理を行った。</p> <p>・外国人英語指導助手を5名配置し、英語科・外国語教育の充実を図った。</p> <p>・東京書籍株式会社の学力調査を小学校3年生以上で実施し、学力の確認を行った。 令和5年度も県学習到達度調査（中学校）において国語・数学・英語の3教科で年2回の実施となったため、小学校3～5年生国語・算数に加えて、市の予算では中学校の理科・社会と、小学校6年生の国語・算数を併せて実施した。 小学校3～5年生 国語・算数（4月実施）小学校6年生 国語・算数（12月実施） 中学校1～2年生 理科・社会（4月・12月の2回実施）</p> <p>・②特色ある学校づくりのため各校に委託している事業については、各校独自の事業を実施した。 港小学校では市民水泳場えみくるを活用した水泳の授業を実施し、児童の泳力向上が図られ、教員は実技指導の方法を得る良い機会となった。</p> <p>・GIGAスクール構想による1人1台のPC配備に合わせ、早い段階で個別の学習のつまづきを解消するため、小中学校の全児童生徒を対象に基礎学力を保障する学習支援ドリル（デジタルドリル）を導入した。 小学校全学年 5教科（国語・社会・算数・理科・英語） 中学校全学年 5教科（国語・社会・数学・理科・英語）</p>			
自己評価	評価の主な観点等			
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い		
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 各学校の実態に応じた特色ある教育活動を展開する上で、非常に有効である。		
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 学校司書を継続して配置することにより、学校司書が関わる時間が増え、近年の図書の貸出冊数は約80,000冊を維持している。情報システム管理員の配置については、GIGAスクール構想に伴いタブレット端末が児童生徒1人1台が整備され、機器トラブルの対応に必須の職員となっており、将来的には増員を行ってきたい。		
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 学校司書の尽力により本に触れる機会が増え、近年の図書の貸出冊数は約80,000冊を維持している。情報システム管理員の配置については、GIGAスクール構想に伴いタブレット端末が児童生徒1人1台が整備され、機器トラブルの対応に必須の職員となっており、将来的には増員を行ってきたい。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し			

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	幼稚園振興事業	担当課名	教育総務課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名		
	2-1 学校教育	②幼稚園・保育所・小学校の連携強化		
目 的	市内にある幼稚園教育活動の向上と保護者経費負担の軽減を図る。			
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に所在する私立幼稚園への補助金支出 ・就園している保護者に対して入園料・保育料等の補助 			
対象者	ぶっとく・初島幼稚園・就園している保護者			
根拠法令等	有田市私立幼稚園振興費補助金交付要綱、子ども子育て支援法			
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	29,682	27,505	国支出金	12,598
			県支出金	6,569
			地方債	
			その他	
			一般財源	8,338
			計	27,505
事業成果	<p>①市内に所在する2私立幼稚園に対し補助金を交付した。教育活動にかかる経費の補助は、教育環境の向上と結果として保護者の保育料負担軽減にもつながった。</p> <p>②令和元年10月より国の制度により保育料が無償化され、副食費については第3子以降や所得制限等はあるが軽減の対象となっている。</p> <p>③県の制度により、国の制度に該当しなかった第3子以降についても所得制限等はあるが無償化の対象となっている。</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い		
	保護者の所得状況に応じた経済的負担の軽減に寄与している。			
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い		
保護者の経済的負担を軽減しており有効である。				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い			
幼児教育・保育の無償化により、3歳から5歳までのすべての子どもの利用料が無料になっている。				
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 本制度により多くの保護者の負担が軽減されている。 また、令和元年10月より幼児教育・保育の無償化により、更に保護者負担が軽減されている。 なお、令和7年度より市内私立幼稚園の認定こども園への移行に伴い、事業終了予定。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し			

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	小中学校管理運営事業	担当課名	教育総務課		
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名			
	2-1 学校教育	④教育環境の整備充実			
目的	小中学校の管理運営の整備・充実を図る。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理（浄化槽、貯水槽、電気設備等の検査や施設の修繕） ・児童生徒の健康管理 ・一般備品、教室用備品の整備 				
対象者	児童生徒				
根拠法令等					
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）		
決算額 （千円）	212,078	231,568	国支出金	3,947	
			県支出金	11,270	
			地方債		
			その他	122,572	
			一般財源	93,779	
			計	231,568	
事業成果	<p>浄化槽、貯水槽、電気設備等の管理や検査を業者委託により実施した。</p> <p>児童生徒の健康管理については、就学時における内科、眼科、耳鼻科、歯科のほか、検便、検尿検査や学校医による健康診断を全児童生徒に実施した。</p> <p>用務員等の会計年度任用職員を配置して円滑な学校運営を行うとともに、県の補助事業による部活動推進事業の実施を継続し、部活動指導員8名を配置して教員の負担軽減を行った。さらに、全国大会・近畿大会出場者も令和4年度より増加し、部としての強化をはかることができた。</p> <p>施設修繕の主なものとしては、糸我小学校・港小学校体育館へのLED照明設置などの取り組みを行った。</p> <p>令和6年4月開校の有和中学校指定制服等を購入するため、中学校新入学児童1人につき1万円（215件）を補助した。</p>				
自己評価	評価項目	評価の主な観点等			
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い	学校の適正な維持管理や円滑な学校運営は、良好な教育環境を確保するうえで、また安全安心の維持のため必要不可欠である。		
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	円滑な学校運営を行うことができた。		
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	児童生徒の学びの場を提供している。			
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	新型コロナウイルスの5類移行後、通常の学校運営に戻しつつ、概ね支障なく管理運営できている。 今後も引き続き、必要な施設整備を行い、安全な環境を提供していく。			

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	小中学校教育扶助事業		担当課名	教育総務課																																				
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策		施策名																																					
	2-1 学校教育		①学校教育の充実																																					
目的	児童生徒の就学に必要な費用の助成を図る。																																							
内容	経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者や特別支援学級に通う児童生徒の保護者に対し、就学のために必要な経費の一部を補助。																																							
対象者	経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者 特別支援学級に通う児童生徒の保護者																																							
根拠法令等	学校教育法、学校保健法、学校給食法																																							
事業費用	令和4年度		令和5年度		令和5年度決算財源内訳(千円)																																			
決算額 (千円)	20,436		22,257		国支出金	922																																		
					県支出金																																			
					地方債																																			
					その他	960																																		
					一般財源	20,375																																		
				計	22,257																																			
事業成果	<p>準要保護の認定件数は児童生徒数に比例して減少傾向にあるが、支給単価は国の定める額に準じており、社会情勢に合わせて総額傾向にある。</p> <table border="1"> <tr> <td>学用品費扶助</td> <td>R5実績</td> <td>230人</td> <td>4,504千円</td> <td>R4実績</td> <td>231人</td> <td>4,235千円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費扶助</td> <td>R5実績</td> <td>56人</td> <td>2,301千円</td> <td>R4実績</td> <td>52人</td> <td>1,809千円</td> </tr> <tr> <td>給食費扶助</td> <td>R5実績</td> <td>227人</td> <td>9,714千円</td> <td>R4実績</td> <td>229人</td> <td>9,594千円</td> </tr> <tr> <td>新入学児童生徒学用品費扶助</td> <td>R5実績</td> <td>77人</td> <td>3,892千円</td> <td>R4実績</td> <td>54人</td> <td>3,183千円</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育就学奨励扶助</td> <td>R5実績</td> <td>46人</td> <td>1,845千円</td> <td>R4実績</td> <td>45人</td> <td>1,614千円</td> </tr> </table>					学用品費扶助	R5実績	230人	4,504千円	R4実績	231人	4,235千円	修学旅行費扶助	R5実績	56人	2,301千円	R4実績	52人	1,809千円	給食費扶助	R5実績	227人	9,714千円	R4実績	229人	9,594千円	新入学児童生徒学用品費扶助	R5実績	77人	3,892千円	R4実績	54人	3,183千円	特別支援教育就学奨励扶助	R5実績	46人	1,845千円	R4実績	45人	1,614千円
学用品費扶助	R5実績	230人	4,504千円	R4実績	231人	4,235千円																																		
修学旅行費扶助	R5実績	56人	2,301千円	R4実績	52人	1,809千円																																		
給食費扶助	R5実績	227人	9,714千円	R4実績	229人	9,594千円																																		
新入学児童生徒学用品費扶助	R5実績	77人	3,892千円	R4実績	54人	3,183千円																																		
特別支援教育就学奨励扶助	R5実績	46人	1,845千円	R4実績	45人	1,614千円																																		
自己評価	評価項目	評価の主な観点等																																						
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い 学校教育法第19条により、経済的理由によつて、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならないとされている。																																						
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 有田市要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給要綱及び事務取扱要綱に従い適正・効率的に処理されている。 経済的に困難な家庭等では、毎月の給食費等の支払いも厳しく、児童生徒が学校での集団生活を送る中で、経済的な面で劣等感を抱くことなく生活ができる事は非常に有益である。																																						
総合評価	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 有田市要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の認定基準により認定、支給している。また、個々の事案について学校長より意見をもらい、社会通念に照らし合わせ認定事務を行っている。																																						
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない 【判定理由及び今後の課題と対応】																																						
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し 経済的理由により就学困難な児童生徒に対しては必要な制度である。 また、新入学児童生徒学用品費については、寄付により国基準より2万円増額しており、小中学校の入学前に入学準備金として支給している。																																							

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	情報教育推進事業	担当課名	教育総務課			
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名				
	2-1 学校教育	①学校教育の充実				
目的	小中学校の情報教育の推進					
内容	児童生徒1人1台端末や大型モニターなどの情報教育環境の整備。 ICTを活用した授業の実施。 教師のICT活用スキル向上のための研修の実施。					
対象者	小中学校					
根拠法令等	教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則、学習指導要領等					
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳(千円)			
決算額 (千円)	97,370	72,732	国支出金			
			県支出金			
			地方債			
			その他	64,489		
			一般財源	8,243		
			計	72,732		
事業成果	<p>パソコンなどの機器について、小学校は令和元年度に5年間のリース契約にて各校2学年分の児童用タブレットを導入し、大型モニター(電子黒板)及び書画カメラを整備した。令和2年度に、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、文部科学省がGIGAスクール構想(学校のICT整備)を前倒しし、校内LANの整備及びタブレット端末については、未整備だった残りの台数を整備し、児童生徒1人1台が使用できるよう整備を行った。</p> <p>中学校については、令和4年度に有和中学校校舎建設工事の際に、校内LANや大型モニターの整備等を行っており、令和5年度末に生徒用タブレット及び教職員用パソコン等の更新を行い、令和6年4月から5年間のリース契約で使用を開始している。</p> <p>教員のICTを活用した授業についての研修について、令和3年度より開始した市内各学校のGIGA推進リーダーからなるプロジェクトチームを充実させ、組織的な推進に関わる「推進リーダー会議」と個人のスキルアップを目指す「基礎的な操作研修」という、2つの目的別の会議及び研修を計画した。推進リーダー会議については、月に2回オンライン形態で行い、各学校の推進状況の交流や事例の共有を行い、長期休業中に集合会議を持ち有田市として目指すビジョンの共有を行った。スキルアップ研修については、個人や学校からの依頼をもとに学校へ訪問する形を取り、個人のレベルに応じた研修会を行った。</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 児童生徒1人1台の学習用タブレットは、中学校分は有和中学校開校に合わせて令和6年4月から新端末に、小学校分は令和6年9月から新端末に更新しており、ハード面の整備は充実している。 学校現場での活用状況を把握し、十分な活用ができるよう教員への研修を充実させていく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	有和中学校建設事業	担当課名	教育総務課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名		
	2-1 学校教育	⑤有和中学校の開校		
目 的	統合中学校の建設を目指す。			
内 容	グラウンドの整備を行う。			
対象者	生徒、教職員			
根拠法令等				
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳(千円)	
決算額 (千円)	3,806,908	702,929	国支出金	177,800
			県支出金	
			地方債	351,400
			その他	159,911
			一般財源	13,818
			計	702,929
事業成果	<p>有和中学校グラウンドの整備工事が完了した。</p> <p>◆設計委託先：隈研吾・二本柳慶一設計共同企業体 工事監理業務委託料 4,840千円</p> <p>◆工事請負先：第1工区 有限会社 石垣組 建設工事費 74,483千円 第2工区 有限会社 西山工業 建設工事費 101,706千円 第3工区 株式会社 岩田組 建設工事費 114,660千円 第4工区 株式会社 保田組 建設工事費 121,744千円</p> <p>有和中学校で使用する消耗品や一般備品、教材備品等を整備した。</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い 中学生が学校生活を送るうえで必要不可欠な施設である。		
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 授業やクラブ活動を行うのに十分な面積を確保できており、照明も完備し、夜間でも利用可能となっている。		
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 生徒に学びの場を提供している。		
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 令和6年4月の有和中学校開校に向けて、グラウンド整備、防球ネット・バックネット・夜間照明等の設置について、令和6年3月に完了することができた。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し			

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	学校給食センター管理運営事業	担当課名	教育総務課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名		
	2-1 学校教育	①学校教育の充実		
目 的	学校給食の提供			
内 容	市内小中学校の児童生徒と教職員約2,000食の安全・安心な給食を提供する。			
対象者				
根拠法令等				
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	218,854	266,742	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	66,279
			一般財源	200,463
			計	266,742
事業成果	<p>小学校（198日、240,154食）、中学校（192日、117,518食）への給食を実施し、適切な栄養摂取による健康の保持、望ましい食習慣、豊かな学校生活が図られた。</p> <p>調理器具等の設備については、老朽化により安定的に運用ができていない物を計画的に更新しており、令和5年度については、食器等を高温で消毒するための熱風消毒室空調機蒸気コイルを修繕した。</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い	学校給食が児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、学校における食育の推進を図るため、必要不可欠である。	
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	必要な整備を行うことで、安全な給食の提供ができています。	
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	市内全小中学校を対象としたセンター方式で給食調理を行っており、献立も共通なことから公平性は極めて高い。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 センター方式により、全小中学校に効率よく給食を提供できている。 蒸気配管、洗浄機器、調理機器等を計画的に更新しており、今後は、調理洗浄器具等だけでなく建物施設や空調機器、廃水施設の更新も考えていきたい。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し			

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	生涯学習推進事業		担当課名	生涯学習課		
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策		施策名			
	2-3 生涯学習		①生涯学習推進体制の充実			
目的	「心の豊かさを実感できるまち」 市内各地域において行われている生涯学習活動を発表する場として、また、子どもからお年寄りまでのあらゆる世代の人が参加でき、人の輪が広がる事業としたい。					
内容	マジックショーやアクロバットによる「こどもバラエティショー」及び落語家桂吉弥氏による「落語と講演会」を開催。					
対象者	全世代					
根拠法令等	有田市生涯学習推進計画					
事業費用	令和4年度		令和5年度		令和5年度決算財源内訳(千円)	
決算額 (千円)	561		587		国支出金	
					県支出金	
					地方債	
					その他	
					一般財源	587
				計	587	
事業成果	<p>大勢の人に喜んでもらい世代をこえて集う場づくりの機会を創出した。</p> <p>【開催日】 令和6年3月3日 【開催場所】 有田市民会館 【開催時間】 こどもバラエティショー 11:00~12:00 生涯学習講演会 14:30~15:30 【来場者数】 こどもバラエティショー 212名 生涯学習講演会「落語と講演会」 669名</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い 落語など普段あまり見ることのない伝統芸能に触れることができ、また、それによって市民の生涯学習への関心を高め、心豊かな人生を送ることに繋げようとする必要性の高い事業である。				
		有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い マジックショーやアクロバットショーによる「こどもバラエティショー」は親子で楽しく鑑賞することができ、家ではできない貴重な時間を過ごせている。また、落語会では来場者数も多く、文化的な活動を広く市民の方に知ってもらいたい機会になっている。参加者が、楽しくこれからも「地域づくり人づくり」を考える機会を創出している。			
	公平性		<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 誰でも参加・鑑賞できるイベントとして、十分な周知活動を行っているため、公平性は高い。			
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 午前子ども向けバラエティショー、午後からは生涯学習講演会とし、1日様々な生涯学習に触れる機会を提供している。2年に1度の開催ではあるが参加者も徐々に増え市民からも「また行きたい。観たい。」との声もいただいております。高評価を得ていると感じている。今後も多くの市民の方に生涯学習について集い・交わり・学ぶ場としての役割を果たしていきたい。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	子ども居場所づくり事業	担当課名	生涯学習課			
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名				
	2-2 青少年健全育成	②子ども・若者育成支援				
目 的	「心の豊かさを実感できるまち」 子どもたちの安心・安全で健やかな居場所づくり、並びに様々な体験学習や地域の大人との交流の中で、心豊かな子どもたちを育てる。					
内 容	教員0Bが指導者となり、小学校4校において夏休みに8日間、学校の空き教室等を使用し「夏休みわくわく学習教室」を実施した。					
対象者	小学校3年生・4年生					
根拠法令等	和歌山県子どもの居場所づくり推進事費補助金交付要綱					
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）			
決算額 (千円)	559	719	国支出金			
			県支出金	467		
			地方債			
			その他			
			一般財源	252		
			計	719		
事業成果	<p>子どもの生活サイクルが乱れがちな夏休みの午前中に、規則正しく学習する場を設けることで、生活習慣と学習習慣の確立が図られた。また、子どもの興味や関心を引くきっかけ作りをし、学習意欲の向上や主体性を身につけながら、楽しく学習する教室とした。</p> <p>【活動場所】 田鶴小学校・港小学校・初島小学校・糸我小学校</p> <p>【活動日】 夏休み期間中に各校8日間</p> <p>【参加者児童数】 田鶴小学校8人・港小学校8人・初島小学校7人・糸我小学校9人</p> <p>【延べ参加児童数】 田鶴小学校54人・港小学校55人 初島小学校49人・糸我小学校66人</p> <p>【指導者】 元教員2名(4校) 学校生活支援員2名(4校)</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input checked="" type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 市内全小学校での実施を目標としているが、指導者の確保が難しく実施に至っていない。 今後、事業内容の見直しを含め、全小学校で実施していく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	公民館管理運営事業	担当課名	生涯学習課			
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名				
	2-3 生涯学習	②公民館の機能や設備の充実				
目的	「心の豊かさを実感できるまち」 地域住民の交流の場として、地域づくり並びに人と人とのつながりを具現化し、地域のニーズ・課題の解決を図る取り組みを実施する。					
内容	地域のニーズに応じた生涯学習・社会教育の充実を図る。 子どもから高齢者まで幅広い年齢層の地域住民が交流できる主体的な事業を実施するとともに、館の適切な維持管理に努め、機能や設備、運営体制などの充実を図る。					
対象者	全世代					
根拠法令等	社会教育法、有田市生涯学習推進計画					
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳(千円)			
決算額 (千円)	62,147	58,415	国支出金			
			県支出金			
			地方債			
			その他	14,989		
			一般財源	43,426		
			計	58,415		
事業成果	市内8地区に設置されている市立公民館は、地域住民の学習拠点として、また、人と人がつながり合う場として、地域に根差した活動を行っている。 8館それぞれが独立並列館である特色を活かし、地域の特色やニーズを吸い上げ、独自の学習プログラムを企画した自主事業を行っており、地域住民の生涯学習・社会教育が推進されている。 また、地域住民の交流の場として、多種多様なジャンルのサークル活動が展開され、地域づくり並びに活動拠点としての役割を果たし、開かれた公民館運営を行うことができた。 令和5年度は、ふるさと応援寄付金活用事業を活用して箕島公民館の外壁改修工事を行った。					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
		市民の主体的な学習活動を支援し、活動の機会や交流の場を提供するなど、生涯学習の推進を図るために必要不可欠な施設である。				
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
地域の生涯学習の拠点施設であり、地域コミュニティづくりに大きく役立っている。 会計年度任用職員の館長、主事、主事補が、交代しながら効率的に勤務し、午前9時から午後10時までの開館時間をまかなっており、施設の修繕や備品の更新については、限られた予算の中で優先順位をつけて実施している。 また、市内8館の年間延べ利用者数は令和5年度で57,130人であり、市民の社会教育推進に大いに役立っている。						
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている	【判定理由及び今後の課題と対応】				
	<input checked="" type="checkbox"/> できている	継続すべき施設であると考えられるが、各公民館共通の課題として、建物及び設備が老朽化しており、維持するための補修必要箇所が増加している。 「有田市公共施設等総合管理計画」に基づき、公民館個々について、統合や他の公共施設との複合化も含めて今後の方針を検討していく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了					
	<input type="checkbox"/> 休止					
	<input type="checkbox"/> 継続					
	<input type="checkbox"/> 拡大					
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し					

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	青少年教育活動事業	担当課名	生涯学習課			
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名				
	2-2 青少年健全育成	①青少年育成関係機関・各種団体との連携				
目的	「心の豊かさを実感できるまち」 未来を担う子ども・若者の健全育成の推進。					
内容	青少年健全育成に関わる活動を行っている団体への支援、並びに地域の教育力の向上のための各種活動の支援。					
対象者	全世代					
根拠法令等	子ども・若者育成支援推進法、有田市生涯学習推進計画、有田市青少年育成事業補助金交付要綱					
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳(千円)			
決算額 (千円)	1,685	2,488	国支出金			
			県支出金	120		
			地方債			
			その他			
			一般財源	2,368		
			計	2,488		
事業成果	<p>子供クラブや青少年健全育成団体の交流活動を通じ、青少年の主体性の向上、社会的な規律の習得、人間関係の構築等を目指す支援へと繋がった。</p> <p>ジュニアリーダー研修会は、リーダー的役割を担う子ども・若者を育成するための、また、地域の子ども会活動や行事が楽しく進むためなどリーダーの果たす役割は大きく、リーダー自身の成長へも繋がったように感じている。</p> <p>親子の体験の場として「親子体験教室」を開催した。家では体験できない貴重な時間を過ごし、親子のふれあいや絆を感じてもらえる機会となった。</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
		青少年の健全育成は、教育問題の一つの大きな柱である。市青少年育成市民会議ならびに、市内12地区の青少年育成会による活動、また、市地域活動連絡協議会を中心とした、8子供クラブ活動が各地で展開されており、それぞれが必要不可欠な活動である。				
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
市内各地区毎に、それぞれの団体が地域の実情に応じた企画をし独自の活動を展開することにより、市全体の健全育成の向上に繋がるものと考えられる。地域の繋がりは、行政の力に頼らず地域が主体となって行うことで高められる。						
公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
	青少年健全育成の関係者を通じ、イベントや啓発について適切に情報提供がされていると考えるが、更に青少年健全育成に関わる団体の活動を市民に周知していく必要がある。					
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	青少年健全育成を推進する団体の活動は、地域の特色を活かしながら継続的に行われているが、市民への周知を深めることで、より一層地域に根差した活動が期待できる。 ジュニアリーダー研修会では、リーダー的役割を担う子どもの育成、親子体験教室では、普段家では体験できない貴重な時間を過ごしてもらうなど社会体験を通じて深く関心を高めてもらいたい。				

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	放課後子ども教室推進事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名		
	2-2 青少年健全育成	②子ども・若者育成支援		
目 的	「心の豊かさを実感できるまち」 子どもたちの安心・安全で健やかな居場所づくり、並びに様々な体験学習や地域の大人との交流の中で、心豊かな子どもたちを育てる。			
内 容	公民館において実施されている「地域ふれあいルーム」など、土曜日や放課後における子どもたちの居場所を確保し、様々な体験活動や地域住民との交流の機会を提供する。			
対象者	全世代			
根拠法令等	和歌山県放課後等子ども教室推進事業費補助金交付要綱			
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）	
決算額 (千円)	2,836	3,100	国支出金	
			県支出金	2,067
			地方債	
			その他	
			一般財源	1,033
			計	3,100
事業成果	子ども達に安心・安全な居場所を提供できたと共に、体験学習や地域の大人との交流により、子ども達の社会性・自主性・創造性・豊かな人間性・自己肯定感等を育み、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進することができた。令和5年度は港町で通学合宿が実施され、10名が参加し、共同生活を通して地域とのつながりあう力や自立心を高めることができた。			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い	子どもの自主性や社会性を高めるとともに、地域社会全体の教育力向上を図るため必要不可欠な事業ととらえている。	
		<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	放課後や週末における地域の子どもの安心・安全な活動拠点の確保に役立っており、地域の様々な資質を有する多くの人々の参画を得て、子ども達に様々な体験・交流・学習活動の機会の提供が図れている。 また、4年ぶりに「通学合宿」が開催され、「たこ作り教室」、「たこあげ大会」など効果的に行われている。	
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	市内8公民館において実施しており、学校区にこだわらずどのふれあいルームにも参加できる。また、市内全域の小学生を中心に十分な周知がされているため、事業効果は公平に配分されている。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	現代の子どもに必要な体験やニーズを把握し、伝統文化にふれたり、新たなテーマで体験学習や講座が実施できるよう、今後もコーディネーター（公民館主事・主事補）の資質向上や、地域の指導者の育成及び発掘に努める。		

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	はたちのつどい開催事業		担当課名	生涯学習課																					
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策		施策名																						
	2-2 青少年健全育成		②子ども・若者育成支援																						
目的	「心の豊かさを実感できるまち」 これからの有田市を担っていく人材として、社会人の自覚を促し、「はたちのつどい」として再会する機会をつくる。																								
内容	はたちを祝い、参加者には周りの人たちへの感謝の心と、これから大人としての第一歩を踏み出すことへの意識を高める機会とする。																								
対象者	平成15年4月2日 ~ 平成16年4月1日 生まれの者																								
根拠法令等	民法（成年年齢）																								
事業費用	令和4年度		令和5年度		令和5年度決算財源内訳（千円）																				
決算額 （千円）	752		653		国支出金																				
					県支出金																				
					地方債																				
					その他																				
					一般財源	653																			
			計	653																					
事業成果	<p>式典は、はたちのつどい代表者による司会によって進められ、オープニングアトラクション（医科大学生によるアカベラ）、教育長、開会宣言、市長祝辞、来賓祝辞、はたちのつどい代表者による「誓いの言葉」、スライドショーなどが行われた。 また、最後に中学校別の記念写真撮影を行った。</p> <p>推移：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新成人数</td> <td>258人</td> <td>266人</td> <td>275人</td> <td>240人</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>227人</td> <td>240人</td> <td>250人</td> <td>229人</td> </tr> <tr> <td>参加率</td> <td>88.0%</td> <td>90.2%</td> <td>90.9%</td> <td>95.4%</td> </tr> </tbody> </table>						R2	R3	R4	R5	新成人数	258人	266人	275人	240人	参加人数	227人	240人	250人	229人	参加率	88.0%	90.2%	90.9%	95.4%
	R2	R3	R4	R5																					
新成人数	258人	266人	275人	240人																					
参加人数	227人	240人	250人	229人																					
参加率	88.0%	90.2%	90.9%	95.4%																					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等																							
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い																			
		これからの時代を担っていく参加者を祝福するとともに、志新たに人生を歩む機会としては必要である。																							
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効	<input type="checkbox"/> 有効	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い																			
過去には、新成人による実行委員会を組織し、式典の内容を企画運営したこともあるが、今は、事務局が取り仕切っている。 近年、参加率も上昇傾向にあり、オープニングアトラクションの充実を行うなどし、参加者の思い出の一助となっている。																									
公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い																				
	生年月日が対象範囲であれば、誰でも参加できるが、案内のハガキは、事務的に現在の住民票をもとに送付せざるを得ないため、転出者には、本人または家族からの連絡がないと案内できない。HPへは掲載している。																								
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】																							
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	民法改正により、令和4年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられているが、対象年齢は20歳のままとし、令和5年度より名称を「有田はたちのつどい」と改め開催している。 今後、18歳に引き下げて実施するかについては、有田郡市で協議を進め、統一して実施していきたい。																							

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	家庭教育支援事業		担当課名	生涯学習課		
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策		施策名			
	2-2 青少年健全育成		②子ども・若者育成支援			
目的	「心の豊かさを実感できるまち」 家庭教育の自主性を尊重しつつ、地域の実情に応じた多様な手法により保護者に寄り添うことを目的とする。					
内容	子どもと保護者が同時に体験を共有し、コミュニケーションの充実を図るための機会を提供する。					
対象者	原則、小学生とその保護者					
根拠法令等	和歌山県訪問型家庭教育支援推進事業費補助金交付要綱					
事業費用	令和4年度		令和5年度		令和5年度決算財源内訳(千円)	
決算額 (千円)	360		359		国支出金	
					県支出金	239
					地方債	
					その他	
					一般財源	120
				計	359	
事業成果	<p>時代のニーズに対応する親子参加型の講座を実施し、親子のコミュニケーション向上を図った。</p> <p>【内容】 令和5年11月23日(木・祝日) 「センサーでうごく未来の車！親子プログラミング体験教室」 午前の部、午後の部の2回 参加者 13組：子ども18人、大人13人</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	健康スポーツ公園管理事業	担当課名	生涯学習課			
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名				
	2-4 文化・芸術・スポーツ	④BIG SMILEプロジェクトの推進				
目 的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 誰もが安全・快適に利用できる施設整備を推進する。					
内 容	有田市運動型健康増進総合施設基本構想（BIG SMILEプロジェクト）により整備され、令和6年3月に供用を開始した有田市健康スポーツ公園「BIG SMILE PARK」を管理運営する。					
対象者	市民、健康スポーツ公園利用者					
根拠法令等	スポーツ基本法					
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）			
決算額 （千円）	0	9,897	国支出金			
			県支出金			
			地方債			
			その他	8,330		
			一般財源	1,567		
			計	9,897		
事業成果	<p>スポーツを通じた健康増進やコミュニティを創出する場として令和6年3月に完成した有田市健康スポーツ公園「BIG SMILE PARK」の管理運営に、民間の能力を活用するため指定管理制度を導入し、また、グラウンドオープンを記念して著名なサッカー選手を招いてのイベントを開催した。</p> <p>また、指定管理が開始される令和5年12月末までの間の施設の維持管理や、供用開始に向けた準備を行った。</p> <p>◇健康スポーツ公園指定管理料（5,620千円 令和6年1月～3月分） 指定期間： 令和6年1月1日～令和11年3月31日 委 託 先： BIG SMILE COMMUNITY 代表企業 合同会社Pink Wind Era</p> <p>◇健康スポーツ公園オープニングイベント 事業内容： 完成披露式 サッカー元日本代表 大久保 嘉人 氏 トークショー・サッカー教室</p>					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 計画どおりに供用を開始することができたが、駐車場不足などの課題もある。 今後は利用者を増やししながら、市民の健康増進や地域の活性化に貢献できる施設としていく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	社会体育活動事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名		
	2-4 文化・芸術・スポーツ	③スポーツ環境の充実		
目 的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 地域スポーツへの支援や生涯スポーツに親しむことができる機会等の創出により、市民一人ひとりがスポーツ活動を主体的・継続的に行える環境を構築する。			
内 容	スポーツ大会等の開催 有田市体育協会への支援			
対象者	市民、市体育協会加盟団体			
根拠法令等	スポーツ基本法			
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	4,435	4,256	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	1,000
			一般財源	3,256
			計	4,256
事業成果	<p>市のスポーツ振興を目的とする有田市体育協会（26団体加盟）に補助金を交付し、多数の市民が参加するスポーツイベントを開催した。</p> <p>◇第47回市民総合スポーツ大会（16種目 約1000名） ◇第82回歩こう会（63名） 三重県「赤目四十八滝」 ◇金沢市・有田市スポーツ交流事業「10周年記念大会」（120名） ◇第53回オレンジマラソン大会（570名） ◇第56回有田市内駅伝大会（15チーム60名）</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い 多数の市民が参加できるスポーツイベントの必要性は極めて高い。		
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 体育協会の活動を支援することで効果的にスポーツの振興が図られている。		
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 誰もが参加できるよう、できるだけ対象を広げ公平性を確保している。		
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 少子化による競技人口の減少や、市内中学校が1校に統合されたことにより大会運営が難しくなっている種目も現れてきている。 今後、既存の事業を精査し、スポーツ人口の増加に努めるほか、近隣市町からも参加者を募るなどの工夫も必要である。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し			

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	生涯スポーツ振興事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名		
	2-4 文化・芸術・スポーツ	③スポーツ環境の充実		
目的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 地域スポーツへの支援や生涯スポーツに親しむことができる機会等の創出により、市民一人ひとりがスポーツ活動を主体的・継続的に行える環境を構築する。			
内容	スポーツ教室の開催 全国大会出場選手への激励 総合型地域スポーツクラブへの支援			
対象者	市民、総合型地域スポーツクラブ			
根拠法令等	スポーツ基本法			
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳(千円)	
決算額 (千円)	2,562	4,145	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	3,790
			一般財源	355
			計	4,145
事業成果	<p>◇スポーツ教室 参加者：111人(10種目) 各種スポーツ競技の体験教室を開催することで、スポーツ人口の増加を図った。</p> <p>◇全国大会等出場奨励金 125件(昨年度99件) 全国大会や国際大会に出場する市民又は有田市出身の高校生以下の児童生徒に、奨励金を交付・激励することで、競技力向上とスポーツ振興を図った。</p> <p>◇総合型地域スポーツクラブ支援事業補助金(2,500千円) 地域におけるスポーツ活動の拠点であり、地域住民の交流の場となる総合型地域スポーツクラブの自立及びクラブマネージャー設置にかかる経費について補助金を交付した。</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い	スポーツ人口の増加を促す体験教室や、総合型地域スポーツクラブの必要性は高い。	
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	多種目のスポーツ教室を実施し参加者を広く募集することで、各種競技団体の活動支援にも繋がっている。	
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	スポーツ教室や総合型地域スポーツクラブは異年齢の子どもや多世代の交流の場となっている。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 スポーツ教室を継続的に実施し、市民の体力向上とスポーツ人口の増加に寄与する。 また、総合型地域スポーツクラブなど、生涯スポーツ振興のため地域で活動する団体を支援する。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し			

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	社会体育施設管理事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政策	施策名		
	2-4 文化・芸術・スポーツ	③スポーツ環境の充実		
目的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 誰もが安全・快適に利用できる施設整備を推進する。			
内容	社会体育施設の管理・運営			
対象者	市民、社会体育施設利用者			
根拠法令等	スポーツ基本法			
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	95,670	94,091	国支出金	8,200
			県支出金	
			地方債	
			その他	59,951
			一般財源	25,940
			計	94,091
事業成果	<p>指定管理制度の導入により、民間の能力を活用することで、体育施設利用者へのサービス向上と運営の効率化が図れた。</p> <p>◇指定管理者：特定非営利活動法人 和歌山箕島球友会 ◇管理施設名：市民球場、市民体育館、初島庭球場 ◇指定管理料：19,000千円（令和5年度） ◇指定管理期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）</p> <p>【社会体育施設の主な修繕】 ◇有田市民球場ラバーフェンス等修繕（44,917千円） ◇有田市民球場昇降式防球ネットビーム取替修繕（4,996千円） ◇旧初島中学校体育館照明器具改修整備事業（9,185千円）</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い		
		市民の健康増進やスポーツ振興のため、体育施設の必要性は極めて高い。		
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い		
体育協会の活動を支援することで効果的にスポーツの振興が図られている。				
公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い			
	市主催行事などでは優先的に施設を利用しているが、概ね公平性が保たれている。			
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 社会体育施設（市民球場、市民体育館、初島庭球場）は、いずれも老朽化が進行し深刻な問題となっている。 特に、市民球場の人工芝やスコアボードは、標準的な耐用年数を経過しており、今後、長期にわたって安全・快適な運用を続けていくためには大規模な改修が必要となる。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し			

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	市民水泳場管理運営事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名		
	2-4 文化・芸術・スポーツ	④BIG SMILEプロジェクトの推進		
目 的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 誰もが安全・快適に利用できる施設整備を推進する。			
内 容	市民水泳場「えみくるARIDA」の管理・運営 初島小学校プール、港小学校プールの夏期一般開放			
対象者	市民、市民水泳場利用者			
根拠法令等	スポーツ基本法			
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	82,650	80,972	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	79,621
			一般財源	1,351
			計	80,972
事業成果	<p>BIG SMILEプロジェクトのもと、厚生労働省が認定する健康増進施設として令和2年度にオープンした市民水泳場「えみくるARIDA」は、年々利用者が増加し、令和5年度では、年間延べ18万人を超える利用者が得られるなど、市民の健康増進と体力向上に役立っている。</p> <p>◇指定管理者：ありだスポーツコミュニティ創造パートナーズ 代表企業 ミズノスポーツサービス株式会社</p> <p>◇管理施設名：えみくるARIDA ◇指定管理料：79,621千円（令和5年度） ◇指定管理期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）</p> <p>初島小学校及び港小学校のプールを、夏休み期間中に一般開放し、安全で快適に利用できるよう管理を行った。</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い 身近に利用できるプールやジムがあることは、市民の健康増進や体力向上を図る上で必要性は高い。		
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い えみくるARIDAでは、健康増進プログラムの充実などにより利用者の増加が図られ、施設が有効に活用されている。		
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い えみくるARIDAは、誰でも利用できるバリアフリー施設であり、料金設定も年齢等により細分化され公平性は高い。		
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 市民水泳場「えみくるARIDA」は、指定管理制度の導入により、民間の能力を活用しながら、健康増進施設としての有効活用を図るための体制が整っている。 連日、多数の利用者で賑わっており、市民の心と体の健康に役立つ施設となっている。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し			

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	図書館運営事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名		
	2-4 文化・芸術・スポーツ	①文化・芸術環境の充実		
目 的	「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」 市民の生涯学習の一助となるための図書館活動を目指す。			
内 容	図書及び記録その他必要な資料を整理・収集・保存するとともに、図書管理システムを運用することによって、市民のための情報提供を迅速に行う。			
対象者	図書館利用者			
根拠法令等	図書館法			
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	98,749	61,772	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	24,762
			一般財源	37,010
			計	61,772
事業成果	<p>図書の購入、本の貸出・返却、情報の提供の日常業務、市内各施設への配本サービス、映画会やお話会等を実施し、市民のみなさんに図書及び図書館に親しむ機会を提供することができた。</p> <p>令和4年12月22日から、ありだ市電子図書館サービスを開始しており、いつでもどこでも繋がる図書館として、来館が困難な市民に対しても資料の提供を行うことができている。</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い 市民の知りたい学びたい欲求に応えるため、様々な情報を提供する必要な事業である。		
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 市民だけに限らず、県内外の図書館からのレファレンスの際にも当館の資料を有効に活用できている。		
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 資料を幅広く収集することで、市民の方々に貸出やレファレンスに活用してもらおうことが出来ている。		
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 市民の知りたい学びたい欲求に応えるため、図書を充実させ、レファレンス業務に取り組めた。 運営については、司書資格所持者を含む正職員・会計年度任用職員がカウンター業務、選書、レファレンスサービス、イベント開催等有効に取り組んだ。 職員は、日々情報共有を行い、資料提供サービスの向上に役立っている。 乳幼児から年配の方まで幅広い年齢層の方が誰でも気軽に利用できることから、事業継続の必要性は非常に高い。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し			

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	文化振興事業	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名		
	2-4 文化・芸術・スポーツ	①文化・芸術環境の充実		
目 的	「心豊かな人を育み、地域で支えあうまち」 市民一人ひとりが個性や能力を活かし、心の豊かさを実感できる市民生活実現のため、文化活動に参加でき親しめる機会を広げる。			
内 容	美術展・文化祭、芸能大会、文化振興活動への補助。（文化財保護事業については、別途明記・決算額は含む）			
対象者	市民他			
根拠法令等	文化芸術基本法、社会教育法			
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）	
決算額 （千円）	14,641	13,867	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	10,296
			一般財源	3,571
			計	13,867
事業成果	<p>市民会館は子供向けのオペラやコンサート・ファミリーミュージカル・本格的なクラシックコンサート・映画会・講演会など年間16回の自主事業を実施し来場者の80%以上の方より良かったとの意見を頂いた。</p> <p>芸能大会、美術展・文化祭などコロナ禍以前と同様の規模で、普段の活動の発表の場としての機会を提供できた。また、多くの方々に来場いただき、市の文化活動の振興に寄与している。</p>			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い	音楽・演劇・美術その他芸術の発表や開催は市民の文化的教養を高めるための一助となる事業と考えています。	
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	市民の生活の豊かさを高めるため、この事業では生涯学びそれを発表する、また芸術に触れる機会を持つことが必要な事の一つと考えます。 関連団体の人的・資金的協力を得ながら事業を遂行できていることから当事業は有効な事業であると思われまます。	
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	多様な方々が参加・鑑賞が可能である事業となるよう、個を尊重できるよう取り組んでいます。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】 本事業は、関連団体との協力体制をとりながら、多数の市民が係わり、かつ質の高い内容を維持できている。しかしながら、内容が多岐にわたり、係わる市民も多い中、それぞれの自主的な活動を重んじながら、いかに公平性を維持し、ニーズのある事業を展開できるかが今後の課題である。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し			

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	文化財保護費	担当課名	生涯学習課	
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策	施 策 名		
	2-4 文化・芸術・スポーツ	②文化財保護の充実		
目 的	「心豊かな人を育み、地域で支えあうまち」 文化財の保護、伝統文化の伝承により、市民が心豊かに暮らし、活気あるふるさつをつくる。			
内 容	市内にある文化財の保護、伝統文化の継承、情報の整理と公開。（文化振興費内）			
対象者	市民他			
根拠法令等				
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）	
決算額 (千円)	4,050	2,150	国支出金	
			県支出金	
			地方債	
			その他	596
			一般財源	1,554
		計	2,150	
事業成果	年2回の文化財パトロールにより文化財の保護に努めている。 本年度は、正善寺収蔵庫の外壁塗装の腐食に関し全面的な修繕をおこなった。（面積15.8㎡） また、正善寺大日如来坐像の特別公開も行き、多くの方が拝観に来訪されました。			
自己評価	評価項目	評価の主な観点等		
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い 国民固有の財産である文化財を後世に伝えるべく、保護するためには必要不可欠である。		
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効 <input type="checkbox"/> 有効 <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 指定文化財の保護については、最小限度（委託料、補助金等）ではあるが、制度の範囲内に於いて実施している。 市民意識として文化財は行政が護るものという意識があり、多種にわたり保護の要請がある。今後、地域が後世に伝えるべき文化財としての意識改革が必要である。その上にとって行政負担の軽減も自ずと実施されると思われる。		
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い 文化財保護につながる各種の情報収集を行い、適宜市民へ提供できるようつとめているところであるが、市内外からのニーズは広範囲あるいは高度な専門性を必要とすることが多く、必ずしも満足するものとはいえない。		
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	指定文化財の保護については、文化財パトロールをはじめ、種々の制度を活用し文化財の保護に努めてきたが、今一度市内の文化財をくまなく調査し、再評価することによって、本当に保護していくべき文化財の洗い出しが必要である。		

令和5年度 事務事業評価調書

事業名	郷土資料館運営事業・熊野古道ふれあい施設管理事業		担当課名	生涯学習課		
第5次有田市 長期総合計画 上の位置づけ	政 策		施 策 名			
	2-4 文化・芸術・スポーツ		②文化財保護の充実			
目 的	「心豊かさを実感できるまち」 有田市の文化財にふれることで、有田市の魅力について再確認する。					
内 容	有田市郷土資料館、熊野古道歴史民俗資料館および熊野古道沿いのふれあい広場等を活用し、有田の歴史や民族に触れる機会を提供しています。 令和5年度は、3回の企画展や古文書講座、考古学講座、学芸員講座の開催、また、子ども向けなつやすみワークショップも開催しました。					
対象者	市民他					
根拠法令等						
事業費用	令和4年度	令和5年度	令和5年度決算財源内訳（千円）			
決算額 (千円)	19,436	21,854	国支出金			
			県支出金			
			地方債			
			その他	4,771		
			一般財源	17,083		
			計	21,854		
事業成果	郷土資料館については、展示ケース内LED照明器具取替、展示クロス張替などの修繕を行いました。 地震や不慮の振動に対して作用するため、不安定な資料を展示するために小型免震台を購入しました。					
自己評価	評価項目	評価の主な観点等				
	必要性	<input type="checkbox"/> 必要不可欠	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い
	有効性	<input type="checkbox"/> 大変有効	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	公平性	<input type="checkbox"/> 極めて高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
総合評価	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	【判定理由及び今後の課題と対応】				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し	文化財保護の重要性を理解していただけるよう工夫を凝らした企画展等を開催した。今後は、できるだけ多くの年齢層に興味を持ってもらえるよう、広報活動に努めるとともに開催内容を充実させていく。				

Ⅲ. 評価委員会の意見

事業に対する意見・質問

【教育総務課】

○学校運営協議会（教育振興事業）

- ・有和中学校の規模でも学校運営協議会委員は10名ですか。

(回答) はい、有田市学校運営協議会規則で定員が決まっています。有和中学校開校の際に、人数を増加するか検討も行いましたが、各小学校区から1名ずつ委員の候補者を上げていただき、7名を決めて、残り3名は有識者ほかPTA役員など学校が決めており、変わらず10名としています。

- ・有和中学校から運営協議会に地域で仕事をしている方を紹介してほしいと依頼がありましたが、すぐに何人も見つかりました。地域と交流できている事業成果があると感じました。
- ・エンジン01で有和中学校を会場として使用して、有名なマラソン選手に来ていただくなど、地域と交流できていると思います。
- ・中学校が1校になりましたが、小学校との連携が希薄になっていませんか。

(回答) 以前と比較すると小学校との交流は薄くなっているのは、ご指摘のとおりです。今年是有和中学校の中の小中連携の一環として、市内の小学校6年生が有和中学校に集合し、午前中は各小学校が交流するイベント、午後は中学校の授業体験を予定しています。地域のお祭りのチラシを中学校に持参いただき配布することで、糸我のお祭りに箕島小学校区の卒業生も参加するなど、これまでになかった他地域のイベントに参加することもありました。学校が授業だけでなく、児童生徒が任意で参加できるような繋がりを広めていきたいと考えています。

- ・教員だけでは地域と繋げていくのは難しい部分もありますが、学校運営協議会を通じて、小学校区を超えた連携をもっと広めていくことは良いことだと考えます。
- ・今後の課題はありますか。

(回答) 各学校の会長同士の横連携だけでなく、各学校長との連携をより深めて、学校運営協議会の会議のあり方をもっと充実させていきたいと思っています。各学校からの報告を伝えて終わりではなく、地域の思いや学校の困っていることも含めてより一層パートナーとして繋がりを深めていきたいと思っています。

- ・委員の職種が偏りがちだと思いますので、もっと広げていただきたいです。

(回答) 職種や年齢が偏りがちであるのは、各会長も課題として感じているところであり、若い世代や女性など多種多様な人選をするなど、今後の会議で議論する予定です。

○有田市教育支援センター（教育振興事業）

- ・現在、不登校傾向のある児童生徒は何名ですか。

(回答) 11月現在で小中学校あわせて長期欠席者は42名です。

- ・指導員や登校支援員はどのような立場の方ですか。

(回答) 指導員は元教諭2名、元養護教諭1名です。スクールソーシャルワーカーは元教諭

です。登校支援員は元教諭の他、地元の方、元主任児童委員です。

- ・教育関係者以外にも、例えば農業している方など色々な現場で技術・技を持っている方に来ていただくと、児童生徒達の関心が広がって良いと思います。
- ・担任との関わりが大きいほど出席率も良くなったので、できるだけ関わるようにしていただきたいです。

(回答) 教育支援センターには校長や担任も来ており、連携できるようにしています。

- ・登校支援員の訪問対象となる家庭はどのように選んでいるのですか。

(回答) 家庭と関わりのあるスクールソーシャルワーカーの情報から、家庭そのものにサポートが必要ではありますが、日常業務の中で直接担任が訪問するのは難しい場合があります。そのような家庭に登校支援員が訪問しています。また、児童生徒に対して登校を促す支援等を行っています。

- ・保育所や幼稚園との縦の連携も重要だと思います。学校から保育所等への要望も伝えていただきたいと思います。
- ・子供たちに夢ができるきっかけになるので色々な職種の現場体験・ボランティアを考えてほしい。
- ・有田市の不登校の状況は県平均や全国平均と比較してどうですか。

(回答) 有田市も全国と同様、増加傾向にあると思います。

- ・不登校だけでなく、いじめの生徒指導案件や虐待案件も増加傾向にあると思います。児童福祉との連携がより必要になってくる教育支援センターで子どもを見ている中で、そんな課題があると地域に投げかけながら子育てに活かせてもらえるようにしたいです。
- ・1人1人学校に行きにくい理由が違ふと思います、ふらっと1か所に集まってうまくいっていますか。

(回答) 利用生徒が増加しており、部屋が狭いと感じることもあります。今後どのように空間を活用していくか検討が必要です。保護者としては「学校に行く」ことができているので、ニーズが高くなっていることもあるかと思います。

- ・ふらっとに来ている生徒は給食を教室で食べているのですか。

(回答) 生徒によりますが、ふらっとの部屋で食べている生徒が多いです。

- ・他県では不登校の保護者同士の連携がある事例も聞きますが、有田市でもありますか。

(回答) 学校内というより、社会福祉協議会の事業など学校外での繋がりが少しありますが、まずは学校と不登校の保護者との関係づくりに注力しております。

○万博国際交流プログラム（教育振興事業）

- ・オンライン会議は英語で行っているのですか。

(回答) 英語です。それだけではなかなか難しいので通訳も入っていただくこともあります。生徒同士の交流ではそれぞれの学校の教員が入って自己紹介をしましたが、一方的に伝えている印象がありました。生徒達は分からないことが分かったと話していました。大人同士の打合せでは通訳者に入ってもらっています。

- ・英米圏ではなく、ドバイを交流先に選んだことが先見の明があると思います。

- ・訪問だけでなく、他にも交流はありますか。
(回答) 有田市とドバイの共通点である石油産業だけでなく、SDGs やサステイナブルな社会をつくるためなど大阪・関西万博のテーマと結び付けて学んでいます。
- ・令和7年度の万博の予定はどうか。
(回答) 有和中学校はドバイナショナルデーに万博会場を訪問し、ドバイのパビリオンで交流成果を報告したいと計画しております。
- ・万博が終了しても事業は継続しますか。
(回答) 有和中学校とドバイの GEMS アル・バルシャ・ナショナル・スクールと教育交流や文化理解の促進に関する連携協定を締結しているので、万博が終了したから事業終了とは思いませんが、今後の世界情勢も注視しながら連携の在り方を検討していきたいと思えます。
- ・海外と連携していることは貴重なので継続していただきたいと思えます。
- ・なぜドバイだったのですか。
(回答) ENEOS(株)の石油精製事業の撤退があり、石油産業に頼らず発展してきたドバイを有田市の子ども達に見てもらいたいという前市長の思いがありました。
- ・事業の意義を伝えながら、継続していただきたいです。

○紀の国緑育推進事業

- ・中津森林組合は環境整備されており、受け入れる体制が整っていますが、有田川町にも清水森林組合があります。有田川の上流に位置しており、私たちの生活に直結する地域なので、その現場を実際に見ておくのも重要だと思います。
(回答) 以前は清水森林組合に訪問していたこともあったのですが、体験環境がよいことや大型バスでの訪問の都合で、中津森林組合に偏ってきました。
- ・有田川上流の維持管理は漁業面にも大きな繋がりがありますし、森林だけでなく地元の漁業者との連携も進めていただきたいです。
- ・希望した学校はすべて体験できるのですか。
(回答) 以前は実施できない学校もあったようですが、現在は希望した学校は実施できるようになっています。
- ・各学校がどの体験場所を選ぶのが重要だと思います。小規模校だと体験の選択肢の幅が広がります。
- ・緑育を経験された先生が他校に異動した場合、異動先の学校で緑育を実施していただいたら良いのではないのでしょうか。
- ・事業実施していない学校にも広げていけば良いと思えます。
(回答) 学校のカリキュラムの関係もありますが、教育委員会としてはもっとPRしていきたいと思っています。

○学力向上推進事業

- ・学校司書の配置はどうか。

(回答) 令和6年度では有和中学校、箕島小学校、保田小学校、宮原小学校は各1名専任で配置しています。田鶴小学校と港小学校での兼任1名。糸我小学校と初島小学校での兼任が1名です。

- ・特色ある学校づくり推進事業委託料の積算はどうなっていますか。

(回答) 基礎額と児童生徒数に応じた金額です。各学校において通常枠でできることに以外に特別に取り組みたい事業があればプレゼンしてもらい、プラス枠として別に委託料を交付しています。

- ・有田市の学力到達度はどのような状況ですか。

(回答) 全国学力・学習状況調査では、全国平均を少し下回る状況でした。個人差が多様になってきています。和歌山県の小学校は上昇傾向にあります。中学校の特に国語が低下傾向にあるので、県も推進しているところです。

○幼稚園振興事業

- ・補助金は施設整備に使われるものですか。

(回答) 保護者の経済的負担軽減のための補助金として支出しているため、用途は問いません。

- ・学校と幼保連携に関する費用はここに当てはまりますか。

(回答) 幼稚園振興費補助金は基礎額と人数割により金額が決まっており、幼稚園運営に関する費用です。

○小中学校管理運営事業

- ・その他の財源はふるさと応援基金が多いのですか。

(回答) はい、学校図書購入に充てています。

- ・今後、学校の施設整備での予定事業はありますか。

(回答) 令和7年度以降、段階的に小学校の体育館への空調整備を予定しています。

- ・避難所整備と絡めて整備することもできるのではないのでしょうか。

(回答) 文部科学省の補助金だけでなく、避難所整備の補助金も含めて検討しています。

- ・大規模災害があると避難所としての機能を果たせない可能性もありますか。

(回答) 有和中学校の空調は、教室棟は電気、体育館はガスで動くようになっています。非常用発電機とバルクタンクを設置していますので、停電時においても3日間程度は空調の機能維持に問題はありません。

○小中学校教育扶助事業

- ・特別支援教育就学奨励費の対象は県の基準などがあるのですか。

(回答) 特別支援教育就学奨励費は国の補助事業であり、その基準に基づき、学用品費などを支給しています。

- ・給食費は全児童生徒が無償ですか。

(回答) 令和6年10月より全児童生徒が無償になりました。

- ・認定基準は所得ですか。

(回答) 有田市の場合は、単なる非課税世帯は認定対象外です。認定している中では、ひとり親家庭で児童扶養手当を受給している世帯が大半です。

- ・民生委員の承認はもらいますか。

(回答) 以前は承認をもらっていましたが、今はもらっていません。

- ・不公平感のないようにしていただきたいです。

○情報教育推進事業

- ・全国的に見ても有田市はすごく活用していると思います。全国学力・学習状況調査の ICT の活用状況でも全国平均に比べて、有田市は高いですね。

(回答) 他の自治体も 1 人 1 台の端末整備自体は完了しているものの、日常的に使用しているかどうかの差が表れているのだと思います。有和中学校ではほぼ毎日使用しており、使用することが当たり前になってきました。

- ・教員がどれだけ使えるかが表れていると思うので、有田市の教員達が頑張っているのですね。

(回答) 学校内で活用方法を共有することで、ICT が苦手な先生達も活用できています。

- ・デジタルだけに偏ってしまうと、児童生徒たちが現実に対応できなくなってしまうのではないかと危惧しています。

- ・児童生徒が実際に活用できる状況ですか。

(回答) 中学生は活用できる生徒が多いと思います。小学生はローマ字を授業で習う前であっても、ローマ字表を掲示しておくことで児童自らがタイピング練習でローマ字を習得していることもあります。今後、タブレットをどれだけ操作できるようになれば中学校でも通用する等の発達段階に応じた数値的な到達度があってもよいと考えています。

- ・知的障害や発達障害のある児童生徒も活用できていますか。

(回答) ノートに書くことが難しかった児童生徒も、タブレットに入力することで、自ら課題に取り組めるようになったり、デジタル教材のふりがな機能や音声読み上げ機能を活用することで学習を進めやすくなったりするなど、目的に応じた活用の幅が広がっています。

○有和中学校建設事業

- ・完成後の施設整備は市単独事業ですか。

(回答) 修繕は市単です。災害復旧事業は別として、有和中学校は補助金を活用して整備したばかりですので、すぐに補助金を活用しての改修は難しいところではあります。

○学校給食センター管理運営事業

- ・一括して市で調理しているのですか。

(回答) はい、調理業務はシダックスに委託しております。

- ・除去食は対応していますか。

(回答) 件数に限度はありますが対応しています。除去食を希望する児童生徒は減少傾向にあります。

・調理員は何名ですか。

(回答) 16名です。交代で午後から洗浄のみに来られる方もいます。

・メニューは子どもからの要望を受け付けることもありますか。

(回答) アンケートを取って、卒業式前は卒業生の意見を反映させたりしています。

・人気のメニューは何ですか。

(回答) 3色ごはん、カレー、フルーツポンチです。フルーツポンチは白玉を抜くかの議論もありましたが、各学校でよく噛んで食べるように指導してもらうことで、引き続き白玉入りも提供しています。

・米の値上がりの影響はありますか。

(回答) 令和5年度は大丈夫でしたが、令和6年度は給食材料費の高騰に対応するため12月補正予算を要求します。

・食育の授業は何らかの形で残っていますか。調理するプロセスを知ることも大事だと思います。

(回答) 給食センターの見学を行っています。給食センターには栄養教諭がいるので、各学校に行って食育授業も行っています。

・先日給食で太刀魚フライを提供しているニュースを見ましたが、全校共通ですか。

(回答) 11月11日が「たっちよの日」ということで、全校に太刀魚フライを提供しました。また、有田市認定みかんの提供や、11月22日和歌山県の「ふるさと誕生日」にはも团子汁の提供を予定しています。

・メニューにあわせて太刀魚の生態を勉強するきっかけにするといいと思います。

【生涯学習課】

○生涯学習推進事業

・事業の計画をするのは職員ですか。

(回答) みかんの里のフェスティバルは各公民館の館長や主事が参加する実行委員会で計画を立てています。

○子どもの居場所づくり推進事業

・学童保育との棲み分けはどうなっていますか。参加費はもらっていますか。

(回答) 学童保育はこども課の事業です。参加者からは1日20円の保険料のみいただきました。

・参加者は事前登録ですか？

(回答) はい、小学校3・4年生を対象に参加を募集しました。

・学童保育や公民館のふれあいルームの事業とは関連があるのでしょうか？

(回答) この事業は国庫補助事業で、国1/3・県1/3・市1/3で実施しています。学童保育は

こども課の事業で関連はありませんが、子どもの居場所づくりの場とする目的としては同じです。公民館のふれあいルームについては、後ほど、放課後こども教室推進事業でご説明させていただきますが、ふれあいルームは、子どもの安心で安全な居場所づくりを推進するため教育委員会が主導で始まりました。その後学童保育が子どもの安心安全な居場所づくりとなり、ふれあいルームは安心安全な居場所づくりに加えて、体験の場として求められるようになってきました。

- ・その他の事業との棲み分けを考えながら事業実施いただくのが良いと思います。
- ・指導員の確保が課題と聞いていますが、令和6年度の実施状況はどうでしたか。
(回答) 事業内容を見直して、5日間に日数を減らし、7校で実施しました。
理科実験、手話ソング、お話会、高専出前授業を実施しました。指導員は元教諭2名と学校生活支援員になってもらいました。
- ・社会福祉協議会も学校に入ってくれていると聞くので、共同でより良い事業を実施できればいいと思います。
- ・指導者の確保が課題とのことですが、信愛大学の学生も活用いただければと思います。
- ・全小学校で実施できたのが良かったと思います。

○公民館管理運営事業

- ・建物修繕の計画はありますか。
(回答) 令和6年度は初島公民館の屋上防水改修工事を実施します。令和5年度は箕島公民館外壁改修工事を実施しました。
- ・初島公民館は2階に上がるのに階段しかないので、高齢者が上るのが大変だと思います。
(回答) はい。老朽化も全館共通で、今後の施設の在り方自体も検討していく必要があります。宮原は旧宮原小学校跡地活用として、公民館機能を持ったコミュニティセンター施設を新設します。
- ・各地域に公民館を残すか、集約するかの方性は決まっていますか。各地域を大事にしたいと思います。
(回答) 県下で見ても各地域に公民館があるのは珍しく、残していきたいと思っています。
- ・糸我公民館は駐車場があるので、他地区からの利用率も高いです。
- ・有田市は公民館の利用料は定期的使用団体登録していただいた場合と、地区の自治会・婦人会や社会教育団体の利用料は無料になるので、利用してくれる方が多く、他市町村と比較して良いところだと思います。

○青少年教育活動事業

- ・ジュニアリーダーの研修を受けた児童生徒はその後何か事業をしますか。
(回答) その後継続して行っていることはありませんが、県主催の研修会などの案内を周知し、また、各地区での行事にリーダーとして参加するよう呼びかけています。
- ・ジュニアリーダーの参加者が少ないように思いますが、学校に参加募集をするのですか？
(回答) 市広報や市ホームページのほか、メールマガジンやポスターの掲示などでも募集し

ています。今後は学校の生徒会からの呼びかけも考えています。

- ・情報を流すだけでは伝わらないので、地域のリーダーから伝えてもらうなど仕掛けづくりが必要だと思います。
- ・ジュニアリーダーは昔からありますが、最近は地域のクラブや生涯スポーツなども増加し、子どもも親も忙しくなっています。参加者の確保が難しいので今後はジュニアリーダーがなくなっていく可能性も含めて、事業内容を整理し、実施していかなければならないと思います。

(回答)多くの生涯学習事業を実施する中で、参加者や指導者の確保が難しくなっていたり、関わってくれる方が固定化されていたり課題を感じています。今後様々な事業を実施する中で工夫できるように検討していきたいと思っています。

- ・各地区への補助は一律ですか。

(回答) 上限内での事業に対して補助しています。

- ・各地区に任すのが活発的な活動に繋がるので良いと思います。

○放課後子ども教室推進事業

- ・あまり知られていない事業だと思うので、もっとアピールできれば良いと思います。

(回答)案内を学校のすぐーる(保護者メール)でお知らせするようになりましたが、それにより参加者が少なくなったと声があったので、紙での募集案内を学校から配布してもらい周知しました。

- ・糸我のふれあいルームは糸我小学校の児童数から考えると参加率がよいので、他地区にも広がっていけば良いと思います。
- ・すぐーるは後で見ることができるという利点がありますが、後で見ようと思って忘れることもあります。

(回答)今はすぐーると紙文書両方で周知していますが、すぐーるの配信時間を18時に設定して、家族でいる時間帯に流すなど工夫しています。

- ・ふれあいルームの参加率はどうですか。

(回答)参加児童が固定化してきています。料理系は人気がありますが、参加率の低い教室は公民館主事が内容を検討してくれています。また、教育委員会としても啓発等を考える必要があると思っています。

- ・各地区の公民館で実施していますが、集約化の予定はありますか。

(回答)現時点では各公民館での実施を予定し、集約化予定はありませんが、集約化することでかけられる人員も増加するという利点があることは承知しております。

- ・適応指導教室の児童生徒がふれあいルームを利用できるようにするなど、他事業との連携も検討いただきたいです。

○はたちのつどい開催事業

- ・今年度のオープニングアトラクションは何を予定していますか。

(回答) サンドアートと音楽の生演奏を予定しています。

- ・参加率がすごく良いですね。

(回答) 年々少しずつ上がってきています。大学等で有田市から転出している方にも参加してもらえよう周知しています。

- ・県内では18歳で式典を開催している市町村はありますか。

(回答) 現時点ではありません。名称も「成人式」から「はたちのつどい」と変更して事業実施しています。

- ・参加率も高いので、評価を高くしても良いかと思います。

○家庭教育支援事業

- ・参加者の変遷や定員はどうですか。

(回答) 定員は午前の部が小学校1～3年生で10組、午後の部4～6年生で10組です。市の広報やすぐる、メールマガジンで募集しています。

- ・有田市の人口から考えるとよく参加してくれていると評価したいと思います。
- ・親子での関わり方が分からない家庭が増えているので、良い機会だと思います。教育だけでなく福祉分野との連携が重要になってくると思います。
- ・補助金との兼ね合いもあり、どうしても縦割りになってしまう部分があるのだと思います。

(回答) 他部署と連携しつつ進めることも検討していきます。

- ・ホームページに掲載とありますが、アクセス数が分かる機能があれば、各ページへのアクセス数から周知方法としての効果検証になると思います。

(回答) 全体の閲覧数のカウンターはありますが、各ページへの遷移数に関しては把握と検証ができていない。

- ・根拠の法令等に、和歌山県訪問型家庭教育支援事業とありますが、訪問型という内容から、不登校の家庭を念頭に置いている面はないのでしょうか。

(回答) 福祉と同じ補助金のため、補助金の名称に訪問型と入っている。

- ・不登校の増加もあるので、学校教育や家庭支援の観点も含めて事業を実施いただきたいです。

○健康スポーツ公園管理事業

- ・利用状況はどのように把握していますか。

(回答) 指定管理者において利用状況を把握しています。えみくるフィールドとえみくるドームは有料での貸し出しのため、申込状況にて利用者数を把握しています。えみくるランドとえみくるルートは自由に入出りできる施設のため、概数にて把握しています。

- ・津波避難はどのように想定していますか。

(回答) もともと敷地の一部が津波浸水想定域でしたが、公園を造成する際に災害対策の補助金を受けて防災公園として整備し、全体的に1m～1.5m嵩上げし津波対策を行っています。防災用トイレやシェルターなどもあり、災害拠点としての役割を担うこともできます。

- ・海拔はどれぐらいですか。

(回答) 海拔 3 m です。

- ・ 県の大会なども実施可能ですか。

(回答) サッカーフィールドは日本サッカー協会の指定を受けており、県大会などの公式試合も開催しております。駐車場は周辺含めて 120 台程度で、大きなイベントの際は港小学校の運動場を借りています。

- ・ 合宿もしているのですか。

(回答) 宿泊施設ありませんが、合宿での利用として近くの民宿を利用してもらい、昼間にフィールドを貸し出しています。

- ・ 近くの港小学校の運動場を駐車場として借りることもあるかと思いますが、駐車場として利用できる専用の土地があるのであれば確保するのが良いと思います。

(回答) 教育委員会としては、エンジン 01 で駐車場としてお借りする ENEOS のタンク跡地を引き続き使用させてもらいたいと考えてはいます。

- ・ 大型バスの駐車場はありますか？

(回答) 設計上は公園のエントランス広場が大型バスの駐車場になっています。しかし、現在は市民体育館との接続道路か、給食センターに駐車しています。今後は ENEOS のタンク跡地が駐車場として活用できるのであれば、そこを活用したいと考えています。

○社会体育活動事業

- ・ 金沢との交流は良いことだと思いますが、効果をどのように感じていますか。

(回答) 毎年競技を変えて交流しており、例えば空手は独自で交流もしてくれています。選手層の厚い規模が大きな自治体と交流する貴重な機会と捉えています。

- ・ 中学校統合により、学校対抗の大会ができなくなりましたが、他市町との交流大会はありますか。

(回答) 今年度の市民スポーツ大会では、陸上競技などは校内大会というような形となりました。今後は他市町との交流も必要と考えています。

○生涯スポーツ振興事業

- ・ 全国大会等出場奨励金の基準はありますか。

(回答) 県大会・近畿大会の予選を勝ち上がって全国大会への出場者が対象です。

- ・ 夏休みのスポーツ教室はこの事業ですか。一つのスポーツ種目だけでなく様々なスポーツを体験できる場となれば良いと思います。

(回答) 夏休みのスポーツ教室でフリーパスがあれば、様々な教室に参加してもらいやすくなるかとは思いますが、運営側としては誰が参加してくれるのか分からなくなるため難しい部分もあります。ただ、普段やったことのないスポーツに触れ合うということが本事業の狙いなので、より参加しやすい仕組みづくりをできればと思います。

○社会体育施設管理事業

- ・ 委託費のうち、施設整備を市予算から支出しているのですか。

(回答) 10万円以下の軽微な修繕は指定管理者で支出していますが、施設も老朽化しており、施設に付帯するような大きな修繕は市で受け持つ協定となっています。

○市民水泳場管理運営事業

- ・職員の地域からの採用はありますか？

(回答) 市から地域の方優先で採用してほしいとは伝えてはいませんが、地域の方が多くは聞いています。

- ・施設修繕は市が持つのですか。

(回答) 令和6年度はサウナの修繕に100万円以上かかる予定です。

- ・電気代が高騰していますが、会費の値上げはありますか。

(回答) 定期会員の会費は条例で定めており値上げはしていません。スイミングスクールも回数の調整を行ったりすることで値上げしていません。温水プールにするための電気代が3,000万円ほどかかったり、人件費が上がっていきりますが、経営努力で頑張ってもらっています。

- ・利用者数はどれぐらいですか。

(回答) 1日延べ人数で約500名。定期会員430名、スイミングスクール会員が570名です。主な利用者は市民の方で、徐々に健康増進が定着してきております。

○図書館運営事業

- ・学校との連携はありますか。学校司書と連携して実施する企画はありますか。

(回答) 企画まではありませんが、学校から図書館見学に来た際に読み聞かせを行いました。学校司書からレファレンスの依頼があり、図書館で職員が探して集めて用意することをして協力させていただいています。

- ・主体性のある活発的な連携をお願いします。

- ・電子図書館の16～18歳の利用者が0なのは本当に0名なのですか。高校にも学校司書がいるのですか。

(回答) 0名です。令和6年度は箕島高校の学校司書からID交付の希望があり、IDを交付したことにより利用実績があります。

- ・学校を卒業してもIDは引き続き利用できますか？

(回答) 学校で発行したIDは卒業すると削除されます。

- ・引き続き使用するには難しいのですか。

(回答) 私立学校へ行かれる方もいらっしゃいますので。有田市内の小中学校のみとなっています。

- ・市民からの希望は聞いていますか。

(回答) 電子書籍の雑誌については業者が選定しているパッケージを契約しています。紙の本は市民から希望を反映しています。

- ・電子図書館は私立高校生が利用できないのですか。

(回答) 市内在住者であれば、図書館の利用登録があれば利用可能です。ただ、学校に交付

しているIDは市内の学校のみなので、市立中学校を卒業して私立高校に進学した場合は継続して利用することができなくなります。

- ・16～18歳の利用者が0なのが目立つので、利用できることをもっと周知いただきたいです。

- ・公平性の観点について、「極めて高い」を選んだのはどのような意図ですか。

(回答) 幅広い年齢層に対応した資料や、障害者の方に配慮した資料を収集しているからです。来年度以降、公平性については検討してみます。

○文化振興事業

- ・関連団体とはどのような団体ですか。

(回答) 主に有田市文化協会です。補助金を交付して事業実施してもらっています。事務局は文化振興係内にあります。

- ・有田市の文化事業は素晴らしいという声をよく聞くので、私もうれしく思っています。

(回答) 市民会館では自主事業実行委員会があり、そこで事業を考えていただいています。

- ・参加者は想定と比較してどうですか。

(回答) 自衛隊のコンサートは満席になるぐらい人気です。その他は6割程度の参加です。

970万円の事業に対して、2,000万円の事業を実施できているので、好評価をいただいていると思っています。

○文化財保護事業

- ・本当に保護していく文化財はどのように洗い出すのですか。

(回答) 県や市指定の文化財の他に、看板をたてて紹介している文化財があります。大学教授や学生が調査中の文化財もあり、調査結果をまとめて歴史的価値があると判断されれば、保護すべき文化財が分かってくると思います。

- ・一度保護したらその後も変わりなく保護していくのですか。

(回答) 歴史的価値に変わりがなければずっと保護していきます。

- ・荒廃が目立つお寺がありますが、地域で管理しているものとの兼ね合いはどうですか。

(回答) 本来であれば、所有者が修繕を行っていくものと考えていますが、歴史的価値があると認められれば、補助金を交付して修繕してもらうことができます。

○郷土資料館運営事業・熊野古道ふれあい施設管理事業

- ・学芸員出前講座は各学校から要望があれば訪問するのですか。

(回答) はい、要望のあった学校で実施しています。たとえば田鶴小学校では「お日待ち」と「浄妙寺」について説明しました。学校の外、自治会等からも要望があれば出前講座を実施しています。

- ・せっかくの機会なので、全部の学校で実施してもらえると、子ども達が文化財にふれる良いきっかけになると思います。

(回答) 学芸員が2名いるので日程調整して訪問したいと思います。資料館へ来て見ていた

だいたり、収蔵庫の中を見学したりといろんな形で活用できると思いますので、学校と連携取っていきたいです。また、学校だけではなく、文化財に触れる機会がないような福祉施設とも連携して別の事業も展開しようとしています。

- ・郷土資料館の床がピカピカに磨かれていることや、子どもにとって分かりやすい説明文になっていることが良かったと思いました。これまで自分があまり訪問してこなかったことを残念に思いました。

(回答) 誰が見ても分かりやすい資料館づくりを目指しています。よりPRしていきたいと思います。

- ・各学校の地域に応じた場所に出かけて説明していただければ、子ども達にとっても良い機会になると思います。

【その他】

○自己評価に関して

- ・評価の必要性について、「必要不可欠」と「極めて高い」としているのに違和感があります。「必要不可欠」はどのようなものですか。

(回答) 「必要不可欠」としているのは、制度的に必ずしなないといけないものを選択しています。

- ・あつて当たり前前の制度は、「必要不可欠」というよりも、あることが「普通」であると思います。
- ・評価基準が主観的であるので、客観性や妥当性を担保するような基準を定めれば、担当者が変わっても基準が変わらずに評価できると思います。

(回答) 評価基準や様式の変更も含めて調書の内容を検討してまいります。

- ・事業に対してできているかどうかより、事業の必要性の評価をしているように思います。自己評価というのが混乱するのだと思います。
- ・担当者が自己評価で必要性を「極めて高い」と設定していることは良いと思います。事業に携わる方々が自信をもって運営したいという意欲で行っているのであれば自己評価でよいと感じます。